

集中講座

ケアの本質をさぐる

～難病・障害の生と死を見つめて～

2016/1/30 (Sat.)

NPO法人・生と死を考える会

人が生きることは自他が互いにケアしケアされることを通して、相互が人間的に成長することにはかなりません。しかし、私たちが生きる現代社会にあっては、そのケアが著しく困難な場面が少なくありません。今回は特に、難病や障害を生き、またそれに関わる人々の実際のケアの体験を通して、ケアの本質とは何か、生と死の意味はどこにあるかを考えてみたいと思います。

【スケジュール】

◆ 13:00-13:50

第1提題 「筋ジストロフィー病棟の患者と看護師たち」

菊池 麻由美氏

慈恵医大医学部看護学科准教授（基礎看護学、看護師）

◆ 14:00-14:50

第2提題 「難病を受け入れて生きる意義とは」

釘宮 明美氏

白百合女子大学文学部教授（比較思想・哲学、神経難病患者会理事）

◆ 15:00-15:50

第3提題 「発達障害児の家族・治療者として生きて」

岩崎 清隆氏

前群馬大学医学部保健学科准教授

（作業療法士、発達障害児・者支援NPO）

◆ 16:00-17:00

全体討論・質疑応答

会 場：東京YWCA会館(お茶の水) 2F 217号室

日 時：2016年1月30日(土) 13:00-17:00 (12:30より受付)

参加費：一般 2,500円

会員・学生 2,000円

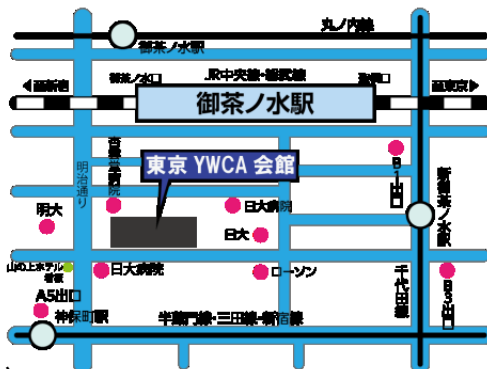
(当日受付にてお支払い下さい)

定 員：先着50名様

申込方法：下記本会宛に、

メール、電話(火・金/午後)、

ファックスにてお申し込みください。



NPO法人・生と死を考える会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-8-11

東京YWCA会館2F 214号室

TEL: 03-5577-3935

FAX: 03-5577-3934

Mail: koenkai@seitosi.org

URL: www.seitosi.org/

